

平成 28 年 3 月 14 日

太陽光発電所における保守・保安に「セグウェイ」導入のお知らせ

三交不動産株式会社（取締役社長 森口文生、本社：津市丸之内）は、太陽光発電所における保守・保安業務に民間の発電事業者で初となる「セグウェイ」を導入しましたことをご案内します。

三交不動産株式会社は、稼働中の発電設備の約90%にあたる約33メガワットを自主保安しており、発電設備の保守・保安には多大な時間を要しておりましたが、この度の「セグウェイ」導入により、従来の保守・保安業務に要する時間の約40%の削減を見込んでおります。

また、「セグウェイ」と徒歩による点検作業を比較した場合、セグウェイ乗車時には視点が高くなることで視認性が向上し、見落とし易いパネル破損等の不具合発見の確実性を高める効果を見込んでおります。

現在は、松阪山室メガソーラー発電所（約15.4メガワット、約16.4ha）にて1台導入し運用を行っておりますが、今後は伊勢二見メガソーラー発電所（約8メガワット、約10.2ha）や津 栗真町屋メガソーラー発電所（約4.5メガワット、約5.3ha）等の大規模発電所で順次導入してまいります。



○お問い合わせ先

三交不動産株式会社 環境エネルギー事業部
TEL：(059)227-5113 担当：小林・森

○資料配付先

三重県政記者クラブ 第二県政記者クラブ